

平成14年8月28日  
原子力安全対策課  
( 14 - 57 )  
< 13時記者発表 >

## 新型転換炉ふげん発電所の出力低下について

このことについて、核燃料サイクル開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

### 記

新型転換炉ふげん発電所（新型転換炉；定格出力16.5万kW）は、定格出力で運転中のところ、8月28日10時50分頃、復水器に海水を供給する循環水ポンプ<sup>\*1</sup> 2台（A，B）のうちB循環水ポンプが自動停止した。このため、直ちに原子炉出力を手動で低下させ、10時57分原子炉出力96%、電気出力15.2万kW（電気出力92%）として、現在安定に運転中である。

ポンプが停止した原因については、現在調査中である。

なお、この事象による環境への放射能の影響はない。

\*1) 循環水ポンプは、タービンを回した後の蒸気を冷やす復水器に冷却用の海水を供給するためのポンプで、ふげん発電所では、A，Bの2台を備えている。

（経済産業省によるINESの暫定評価尺度）

基準1	基準2	基準3	評価レベル
-	-	0 -	0 -